

公共図書館でどこまで医学情報を提供できるか

千葉県立西部図書館の実践

伊藤博

千葉県立西部図書館協力課

1 千葉県立西部図書館の概要

1987年7月に2館目の県立図書館として、松戸市に開館した。西部図書館管内は現在自治体が11市あり、図書館設置率は100%である。当館は当初から図書館を支援すること、逐次刊行物センターとしての役割を果たすこと、参考調査館として研究調査の資料を提供すること、視聴覚資料の整備、障害者サービスの充実を主な機能としていた。

2 千葉県立西部図書館資料の特徴

市町村図書館で整備しにくい自然科学・技術の分野の資料を中心に収集

(蔵書冊数) 22万冊

うち自然科学 2万冊 (10%) 医学 1万冊 (5%) 開架 6千冊 (3%)

(医学関係購入冊数) 健康の本というより主に医学書

2005年出版 686冊 (14% 出版点数 医学薬学 4813冊)

2004年出版 557冊 (12% 出版点数 医学薬学 4745冊)

(医学関係購入雑誌) 22誌 現在、継続検討中

「医道の日本」「EBM ジャーナル」「ウィルス」「栄養学雑誌」「解剖学雑誌」
「からだの科学」「看護展望」「暮らしと健康」「外科」「公衆衛生」「厚生指標」
「こころの科学」「食品と暮らしの安全」「精神医学」「精神科治療学」
「総合リハビリテーション」「日経メディカル」「発達障害」「母子保健情報」
「保健師ジャーナル」「Mebio」「薬学雑誌」

3 導入商用外部データベース 利用者に公開

- ・新聞「聞蔵 朝日オンライン記事データベース」「日経テレコン 21」
- ・雑誌「医中誌 Web」
- ・図書・雑誌「NICHIGA/WEB Service」
(「G-Search データサービス」のみ 職員レファレンス用)

4 利用状況 医学生、看護師の利用が多い

自然科学関係図書貸出冊数

平成 17 年度 11180 冊 (全貸出冊数の 21%)

平成 16 年度 11392 冊 (全貸出冊数の 21%)

5 公共図書館は医学情報の水道の蛇口になれないか？

- 医学情報のネットワークの一員に
- ・公共図書館以外のネットワークを今後どう結んでいくか？
千葉県内の公共図書館のネットワーク - 県立図書館連絡車の運行
県立図書館間は週 2 回、市町村立図書館・公民館は週 1 回
千葉大学附属図書館松戸分館とは平成 17 年度から連携をしている。
- ・医学文献の取り寄せをどうするか？
現在は千葉県立衛生短期大学図書館、千葉県がんセンター図書室に依頼
- ・医療情報を提供するときの図書館員としての心構え
- ・基本的な研修の必要性 - 基本的な資料を知る